

平成21年度開催「住民投票制度の在り方について考える市民ワークショップ」の成果

市民フォーラムで示された住民投票制度のあり方について、18名の市民参加者とNPOからのファシリテーターとともにワークショップを行い、制度の理解を深め意見交換をしました。

第1回 10月30日(金)18時30分～21時 14人

- ・住民投票制度の現状
- ・基本的な制度の理解
- ・住民投票条例のタイプと特徴

第2回 11月26日(木)18時30分～21時 14人

- ・住民投票とする対象事項の考え方
- ・投票の実施の決定に関する考え方

第3回 11月29日(日)13時30分～16時30分 14人

- ・住民投票実施のための要件
- ・発議 ・投票の資格者
- ・議会、長の発議

第4回 12月5日(土)13時30分～16時30分 10人

- ・投票の成立要件の考え方
- ・投票結果の拘束力の考え方

第5回 12月17日(木)18時30分～21時 12人

- ・情報提供の考え方
- ・投票運動に関する考え方

第6回 12月20日(日)10時00分～12時30分 6人

- ・再請求、再投票の考え方
- ・住民投票制度のあり方

住民投票について考えるワークショップ第1回（10月30日）

区分	直接請求による方法	個別課題型条例による方法	常設型条例による方法
グループ1	<p>【良い点】</p> <p>①住民による直接請求が住民自治の立場から好ましい＝民主主義の基本でもある</p> <p>②直接、成人、未成年者の区別なく請求することが可能</p> <p>③人数が少なくても出来る＝署名数が少ない</p> <p>【悪い点】</p> <p>①時間がかかると</p> <p>②手続きが市民にとっては難しい</p> <p>③なんでもかんでもどこかの団体の営利に利用されるかも</p> <p>④お金のむだ使い</p>	<p>【良い点】</p> <p>①タイプとしては個別型がよい</p> <p>【悪い点】</p> <p>①個別は反対のための住民投票になりやすい</p> <p>②個別、直接請求は、地方自治や議会のおもわくで否決されやすい</p> <p>③不可能に近い</p>	<p>【良い点】</p> <p>①短時間</p> <p>①ー1：時間がかからない</p> <p>①ー2：早くとりきめられる</p> <p>①ー3：時間を短くすることが出来る</p> <p>①ー4：手続きが簡単にできる</p> <p>②請求の種別ができる</p> <p>③かつてな事はさせないゾーという民の意思の担保になる</p> <p>④市や議会にプレッシャーをかけられる</p> <p>⑤住民の意思がムダにならない</p> <p>⑥地方自治体は議会のえいきょう力を受けにくい</p> <p>【悪い点】</p> <p>①情報公開が今の段階では少ない＝活用されづらい</p> <p>②住民の政治へのかんしん度が不かけつ</p> <p>③条件等とりきめが大切であり大変でもある</p> <p>④時代の変化に対応していけるか問題である</p> <p>⑤カイシャクで変更されていく心配がある</p>
グループ2		<p>【良い点】</p> <p>①市民の問題意識が高まる。</p> <p>②署名数のハードルの低さ</p> <p>③市民の声を示す手段</p> <p>【悪い点】</p> <p>①投票実施まで手数と時間がかかる。</p> <p>②地域エゴになるのではないか。</p> <p>③一般市民が条例（作成が）可能か</p> <p>④十分な議論の時間があるのか。</p> <p>⑤住民投票にかける問題なのか。</p> <p>⑥情報開示されるのか</p> <p>⑦行政がもっている情報と市民の立場の情報の差が大きいので、提出した段階で消えそう（その問題はすでに他の条例に盛り込んでいるなど）</p>	<p>【良い点】</p> <p>①パニックにならずに済む。</p> <p>②見通しを持つ。</p> <p>③制度としてあるとよい。あることに意義があるのでは。</p> <p>④投票実施まで迅速である。</p> <p>⑤ネガティブリストが良いのでは？</p> <p>⑥市民のリテラシー（プライド）</p> <p>【悪い点】</p> <p>①情報のある人が市民をある方向に導く可能性がある。</p> <p>②署名数のハードルの高さ</p> <p>③条件以外の要件は除外される。</p>

1 グループ

住民の意思＝市民参加

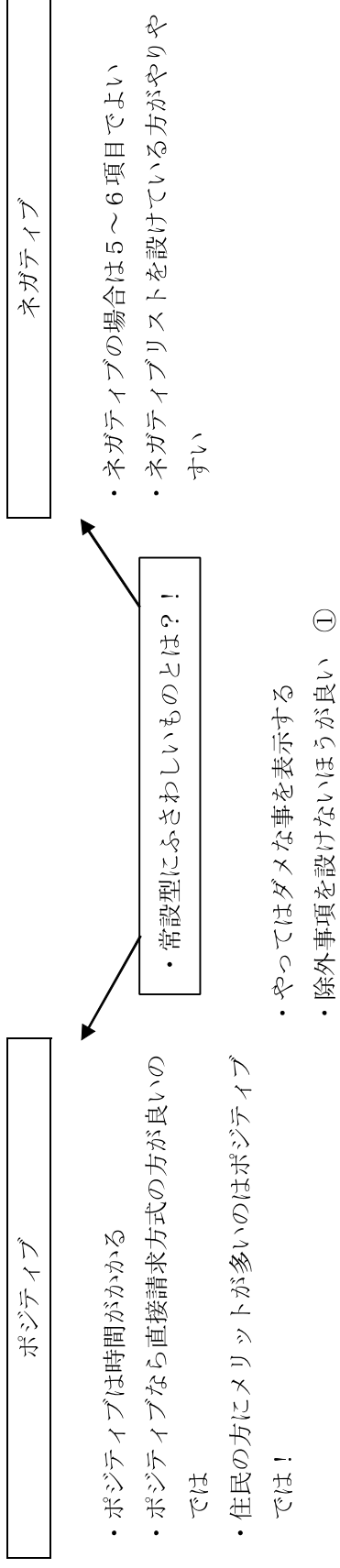
ポジティブーネガティブ

<ul style="list-style-type: none"> ・ ポジティブ、ネガティブはなく、広く意見をとりいれる ・ 市民の知を出す一つの方法 ・ 住民投票＝意思を出すのが基本、限定すべきではない、意思表明の場合 ・ 一部地域＝エゴでないか？⇒住民投票にいきつかない ・ 一部の地域はのぞく⇒全てネガティブ ・ 住民と住民とのギャップ＝具休、F15・F16、議会は、市長は決めてしまつたー住民投票してほしい ・ 署名の数、方法も問題 ・ なじむものとなじまないもの、練ひき ・ 個人の見解のちがいが、地域と別の地域⇒署名による ・ ネガティブはない方がいい ・ 議会で決まったものをまた決めなおす ・ 住民の意思をしめす事はいい⇒権限を……＝できない ・ 住民の声ー市全体へうったえるための住民投票 ・ 一つの団体、会社への圧力⇒住民投票なければお願いだけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市→ネガティブがわかりやすくなる 住民→いろいろな事を言いたい ・ 決め方の問題 ・ 住民投票のお金は？いくら ・ 住民にとってできる体制づくり（ネガティブになりすぎ）
--	--

ネガティブリスト→いららない

ポジティブリスト→いららない

2 グループ



第3回ワークショップ発表

第1部：住民投票の実施決定の考え方（発議から実施決定までの手続）

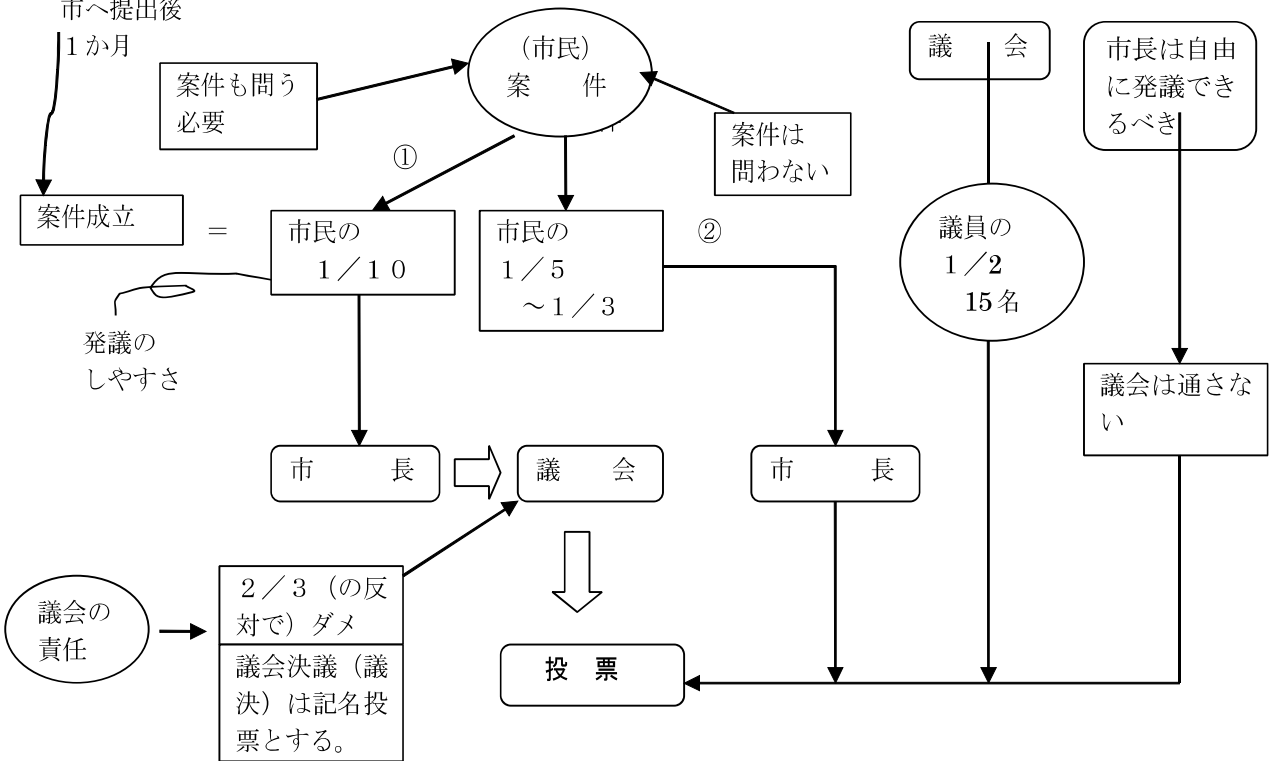
第1グループ

要件が1満たされれば実施する考え方（住民も市長も）	①議会で話し合われなから住民投票するのだから議会で否決されるのが大半だとすると議会の議決はいらない。 ②有効署名数の重み。決して議会軽視にはならない。 ③基本的な条件が充足されたらストレートに。⇒慎重で深く多様な論議をするためにパーセンテージ（必要な署名数の）は高い方が良いが、議会での否決というフィルターは一切必要ない。 ④住民投票なので住民の発議で行える。チェック不要 ⑤住民（自分が）→署名（同意者の協力）→市長 議会に問題意識がなかったということ。 ⑥住民 署名 ・悪法化するものは・数の多さ・意見を集める ⑦結果として議員は→ストレートにすることによって議員が市民投票条例を実行しないように頑張る。
中間（に位置するもの）	①基本的条件を満たされれば実施、ただし、悪意を持つ人に利用されるかも ②分別するため、会議みたいなもの 専門家、市長、議員、意見、大きく動くようになる？
（要件のほかに）手続を加味する	①人選はよく考えなければならないという難しさはあるが、専門知識のある人達による第3者機関が必要 ②議員は市民の意を分かりやすく受け止めているか、はなはだ疑問だから専門分野の人の参加が必要
	住民→[学習会・公開討論会]を行う→署名→市長提出→実施 市長→[学習会・公開討論会]を行う→発議→実施 議会→[専門家・学識経験者の機関を置く]→発議（議決）→実施

【住民による発議の要件】

1 / 20 (7,300人)	1 / 10 (14,512人)	1 / 6 (24,186人)	1 / 5 (28,000人) ~ 1 / 3 (48,000人)
①1/20 直接請求が1/50 署名期間が短いだろうから（1か月） ②集めやすい ③やりやすいことが大切 ④1か月という限定された期間の中ではこの位の数が実現可能	① 1/10 年齢層（高齢者）を考えると容易に署名に参加できる。 ② 1/10 14,512人、 ・問題意識が問われる。 ・住民の参加意義の目安 ・住民投票 ③集めやすい ④高齢者であっても参加しやすい。 ⑤不可能な数字でないことで住民の意識が高まっていく。	① 1/6 市民が身近な問題があるなら早く集まるのでは ・これくらい必要 ②市民に影響のある問題である以上、この位の数は集めなければ、また、集まるはずだと思うので。 ③1つの企業の利害だけで投票が始められないように	① 要件 1/5 （苦小牧 28,000人） ②安易な判断をさけるためにはハードルが高い方が良い。
できるだけやりやすい ←		→ 重大な課題で・・・慎重を要するハードルの高さが必要	
★ 有効投票数に達しなくても必ず開票・公表をすることを明文化してほしい★ ⇒ こうすることで、投票妨害を避けることができる ★			

第2グループ
市へ提出後
1か月

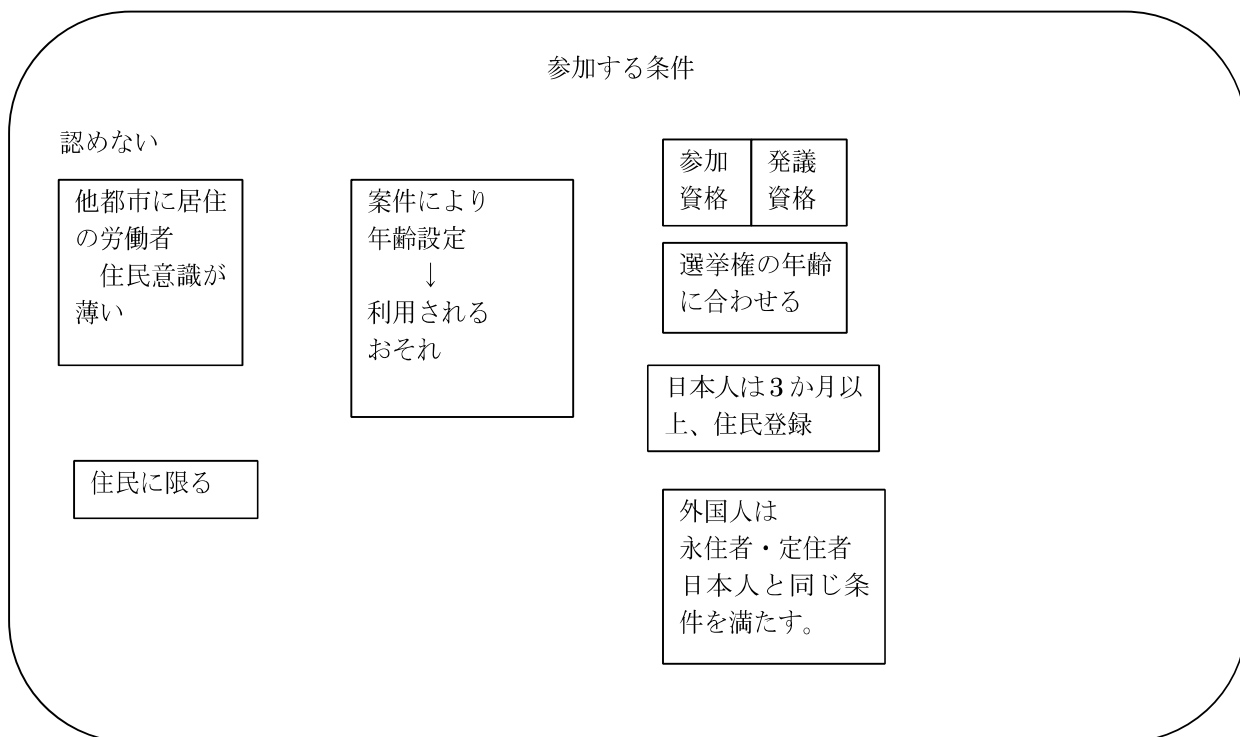


第2部：発議の資格者・投票の資格者

第1グループ

外国籍	16歳	18歳	20歳
①税金を払っている以上、意見を言う権利を有する。 ②住民登録があり3カ月以上滞在 ・国際的広い視野 ・住んでいる以上、(有する)権利	①16歳以上 理由： ・社会人もいる、 ・結婚もできる、 ・大人としての権利を認める。 ・環境として整える条件付き ②環境を整えるという条件付きで ↓ 大人としての正しい判断が出来る学習の機会を設けること ・新しい発想が生まれるかもしれない。	①環境問題が優先され、街の活性化を考えて18歳以上 ②若い人の参加で街の活性化がされる。 ③しかし判断には社会経験が必要なので18歳 ◎大学生としての自覚・判断を促すことができる。 ○正直、何歳でもいいと思うが、あまり早いと親の考えに左右されがち。独立した自分の考えを持つるのは18歳	①20歳以上(有権者の年齢) ②今の18歳を見ていると心配 ③お金がかかからず実現できる(選挙人名簿の管理)。 ○時間がない中では学習する時間が少ないので、一定の社会参加の経験が必要

第2グループ



グループ1

	成立要件 (有)	成立要件 (無)
長所	<p>(例) 1 / 3</p> <p>成立要件必要 1 / 3 直接住民投票 (自治法) 憲法において議会発議が認めている事の 2点</p> <p>国会や地方議会に おいての発議の要 件が 1 / 3 なので 妥当な数字だろう</p>	<p>要件はいらない</p> <p>A ○選挙と住民投票が同等に民意として尊重されるべき</p>
不成立時	<p>公開 ↑</p> <p>全て開票</p> <p>成立要件無し</p> <p>不成立でも開票すべき</p> <p>発議は公開にする 反対住民の意見も知 ることは今後の参考 になるから</p> <p>民主主義 no 発展</p>	<p>要件無しの場合は投票率アップにつながるものと考えられる</p> <p>B ○もし情報公開が徹底されるならば、無しでも投票率のアップにつながる</p> <p>賛否両方の意見の掘りおこし</p> <p>ハードルが低いために</p>
短所	<p>○選挙投票率が下がっている状況の中、それでも民意として当選してしまう。</p> <p>ならば住民投票も同じ民意として尊重されるべきで、住民投票だけに要件が設定されることは公平ではないのではないか。</p>	<p>○多数を必要としないのであれば、情報公開や市民の関心、投票への参加も少ないまま進められ、決定される恐れもある</p>

グループ2

	成立要件あり	成立要件なし
長所	<p>投票の多さで市民の意見がよく見える 1 / 2</p> <p>重要な問題 1 / 2 以上</p> <p>曖昧にならない</p> <p>要件を設けた方が拘束力につながる 1 / 2 以上</p>	<p>住民の意見がわかる</p> <p>妨害されおそれがない</p> <p>住民投票やつた意味、必要性、それがない</p> <p>反対の意見もひろいあげられる</p> <p>投票に行きやすい</p> <p>少数者による投票反映される</p> <p>組織票などで、結果をコントロールされる危険あり</p> <p>少ない投票数でもOPENなので、お金がかかる</p> <p>議員発議の場合、少数の議員の言いなりとなり可能性(危険性)がある</p>
短所	<p>問題より時代一定でよいのか変更できないと</p> <p>無効票が多くなり、次回の投票に影響が出る消極的になる</p> <p>少数者 無視 開票されないことにより</p> <p>住民投票自体が無駄となる(開票されない)</p>	<p>ボイコットされるおそれがある ※投票に行かなくするための</p> <p>無関心の人 反対の人 反対意見を一票より無効にした方が簡単なのはいいか</p> <p>人間関係が悪くなる(猜疑心)が生まれる</p>

グループ1

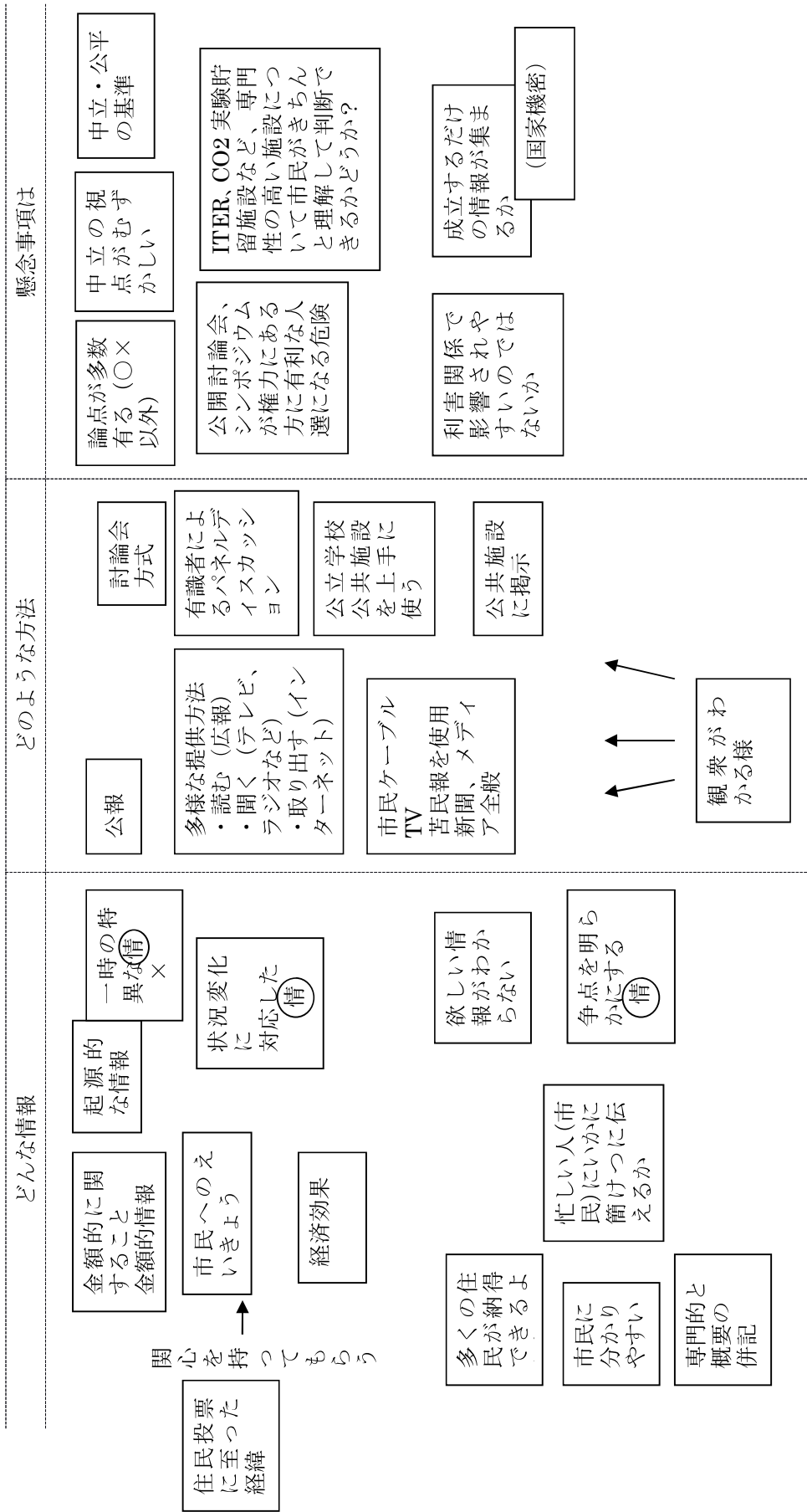
拘束型	諮問型
<p>【現状】</p> <p>拘束型に近づける</p> <p>①議会の議決の乱用が横行している現状がある。</p> <p>②地方を地元を無視した国政への意思表示の重さを地方から確定していくことが必要</p>	<p>【法的】</p> <p>拘束型が良い。</p> <p>①間接民主制の欠点を補うために地方自治がある。</p> <p>②拘束型は違法ではない。</p> <p>・現憲法でも拘束型にできるはずである。</p>
<p>議会が通りにくい</p> <p>拘束型が望ましいが、市条例上むずかしい。しかし議会をいかにとり込むかによって拘束できるかもしれない。</p>	<p>諮問型は市条例の解釈により拘束型に近い力を持つことができると思う。</p> <p>議会を通しやすい</p> <p>投票にそわない場合は裁判所に訴える。</p> <p>実現していく中で拘束力を高めていく。</p>
<p>付記すべき条件項目</p> <p>A 苫小牧市自治基本条例前文</p> <p>・自ら考え、自ら行動、自ら決定この項目を使って拘束力をもたせる。</p> <p>B</p> <p>C 住民投票の案件はくり返してできる保障</p> <p>・結果と反して議会・住民投票と反した行動が起こった時、同じ案件を住民投票でやれるように項目を入れる。</p> <p>・結果と反して議会、住民投票と反した行動がおこった時、司法に判断を求める項目を入れるべき。</p>	

第4回ワークショップ第2部「第2部：投票結果の拘束力の考え方」

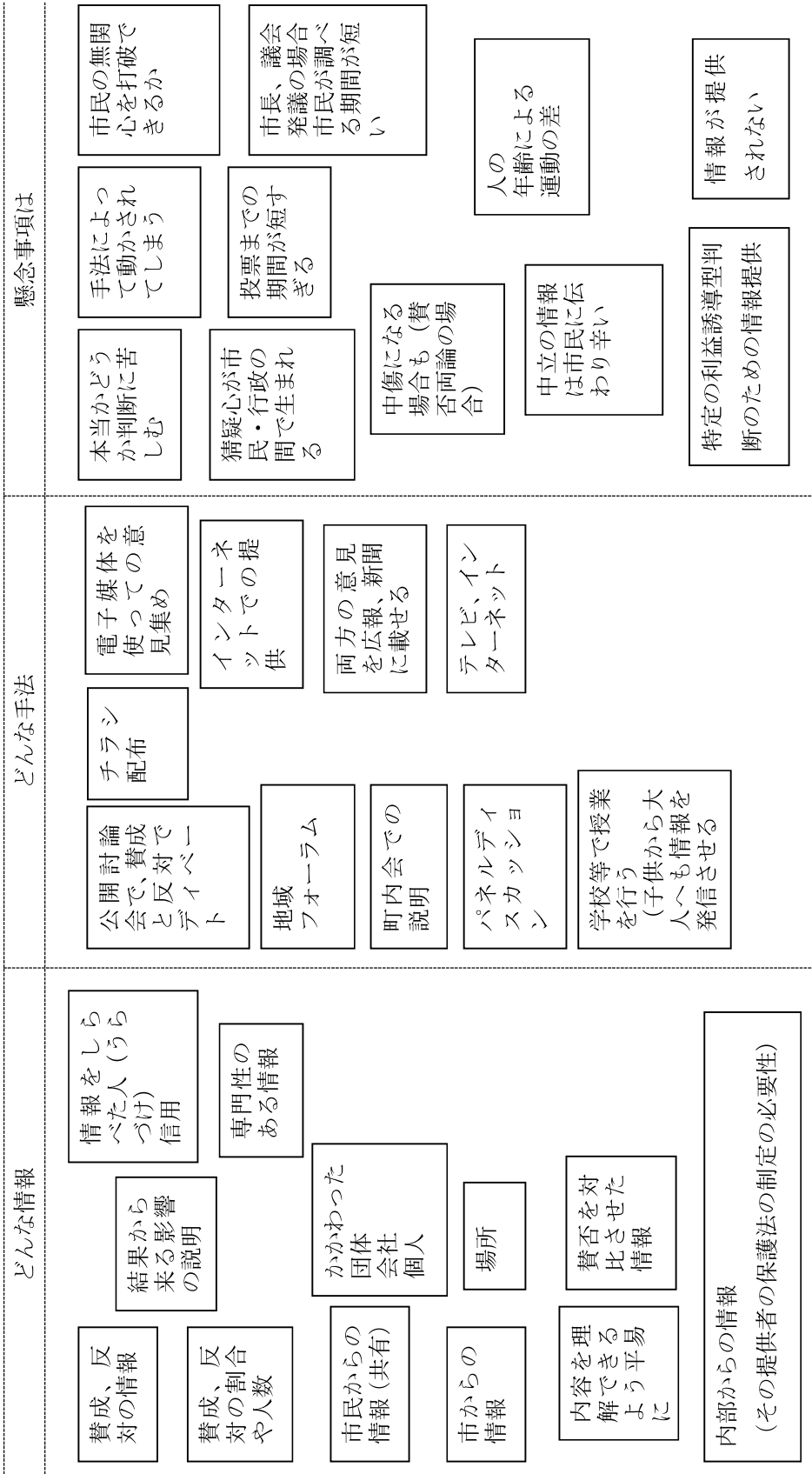
グループ2

拘束型		短所		諮問型	
長所		短所		諮問型	
<p>住民意見が反映される</p> <p>市長がその結果1/3以上を無視しないでほしい、配慮がほしい</p> <p>市長がその結果を無視しても、条例違反という問題が生ずることはない</p>	<p>成立要件がゆるい時、コントロールされないように</p> <p>法と合うようにすると、市民の意見からずれていくのではないかと（整合性がなくなる）</p>	<p>住民投票の結果に議決権を持たせる</p> <p>議会への説明をさせると（本会議上において）</p> <p>記名投票にする 市議会</p>	<p>住民の意思は解るので意味はある。</p>		

第1部：情報提供の考え方〜どんな情報が必要か、どのような方法で提供されるとよいか、情報の提供時に想定される懸念事項は
第1グループ



第1部：情報提供の考え方～どんな情報が必要か、どのような方法で提供されるとよいか、情報の提供時に想定される懸念事項は
 第2グループ



第2部：「投票運動の考え方」～規制すべきかどうか、他の選挙と同日とするかどうか、第1グループ

投票運動を規制するかしないか		他の選挙と投票日を同日にするかどうか
規制する	規制しない	同じくする
<p>① 演説などの音量、場所</p> <p>② 戸別訪問の時間</p> <p>③ 外（他都市）からオルグが来るので規制</p>	<p>① 投票運動は自由、規制なし</p> <p>② 規制しない方が良い。多様な運動形態が考えられるので。</p>	<p>① 費用のことを考えると同日</p> <p>② 投票率を上げる為には</p> <p>③ 公民権を使える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>中立②</p> <p>タイミングによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の選挙日に近い場合は同時 ・遠い場合は別 </div>

第2グループ

規制がある場合		規制がない場合
<p>同日選 同じや ない</p> <p>① 場所（運動）～病院・学校など</p> <p>② 大音量と連呼の禁止</p> <p>【懸念されること】</p> <p>① 投票に消極的</p> <p>② 運動が消極的になる</p>	<p>① 戸別訪問ができる。② どんな人にも働きかけられる。</p> <p>③ インターネットによる意見や発表</p> <p>【懸念されること】</p> <p>① 討論会など 意味がなくなる。② 脅迫・強要がある危険</p> <p>③ 平等性に欠ける ④ 運動に無理が生じる</p> <p>⑤ 運動、エスカレートする</p>	
<p>同日選 （公職選 挙法を 考慮）</p> <p>① 公選法に同じ</p> <p>【懸念されること】</p> <p>① 住民投票が軽視される恐れがある。</p> <p>② 本件が薄れる。</p> <p>③ 運動が消極的にならないか。</p> <p>④ 聞き手が何の話か判断できない。</p>	<p>① 投票運動と選挙運動ができる。</p> <p>【懸念されること】</p> <p>投票運動に合わせて選挙運動される問題</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>相互に便乗 する可能性</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>選挙費用が 節約できる</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>時間規制 （生活に支障が出 ること）</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>議員の姿勢がは つきりする？ （しない？）</p> </div>		

第1部：再発議・再投票の請求について制限する期間を設けるか。
第1グループ

再発議（を制限）する期間を設ける	再発議を制限する期間を設けない
<div data-bbox="359 1848 544 2029" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>運動員のエネルギーが蓄えられる可能性が高い。</p> </div> <div data-bbox="614 1848 719 2029" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>風化する形骸化する</p> </div> <div data-bbox="359 1563 544 1747" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>住民の関心が薄れる ↓ 投票率が下がる</p> </div> <div data-bbox="406 1193 635 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(条件では) 仕方は 社会的・経済的情勢等の変化で対応できる。</p> </div> <div data-bbox="699 1243 882 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>前回の投票の影響を受けて結果を予測できる。</p> </div> <div data-bbox="614 1512 821 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>再請求の期間は2年が良いと思う。 (理由) 市長・議員の選挙(4年)とのかねあひ。</p> </div> <div data-bbox="863 1512 930 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>半年でも十分では</p> </div>	<div data-bbox="400 875 568 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>費用・エネルギーが多大に使われる(署名集めなど)。</p> </div> <div data-bbox="663 875 820 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>多くの人々にアピール出来る。</p> </div> <div data-bbox="400 315 544 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>期間をもうけない方が良い。</p> </div> <div data-bbox="544 616 783 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>再請求できる(理由) 前投票後の事情の変化がある場合があるから。</p> </div> <div data-bbox="592 315 719 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>判断する者がいない。</p> </div> <div data-bbox="767 315 930 499" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>新事実が出たとき、すぐに取り組み。</p> </div>

第2グループ

<p>(再投票) 再請求必要</p>	<p>(再投票) 再請求が必要じゃない</p>
<p>再請求への道は閉ざすべきではない。</p> <p>権利など法的なものはおおせる</p> <p>時間の経過で人の考えも変わる</p> <p>禁止期間はいいから進んでしまおう。また、それがどれだけ重大な事であるかは請求者側が知り得ていることであり、それを訴える権利、そして住民の知る権利も常に保障されていない事柄が招かれてしまった責任は全住民が負うことに発する</p> <p>はじまっては現実の中であらためて完成をめざすべきか、見直しが出来ない事は負の遺産を残すのみ</p> <p>事の重大さを考えると、投票の費用とまちがった決断の負の費用とを考えた時、直前の経済の論理で判断すべきではない。</p>	<p>もう一度最初から同じプロセスを踏まなければならない。</p> <p>現実性が無い。</p> <p>パワーが出ない。</p> <p>直接請求などへの転換がある。</p> <p>制限がなく何回も</p> <p>建築の関係再請求だと問題が大きくなる。</p> <p>法的拘束力ない結果尊重義務の場合、強制力をもってしまいあいまいになる。</p> <p>社会的なえいきょう大</p>
<p>案 件</p>	
<p>期間は必要なし</p> <p>(状況の変化がある。)</p> <p>民意に反する工事などの進行を止める。</p> <p>時間の経過による変化で投票時とは違う要件</p> <p>環境の変化や、政治的な指針の変化</p> <p>期間あり</p>	<p>状況の変化で事が進行する。</p> <p>住民投票自体が必要なくなる。</p> <p>再請求</p> <p>必要 禁止期限なし 何回も</p>

第6回ワークショップ結果
第1グループ

直接請求	住民投票条例
<p>直接請求でもよいのでは</p> <p>① システムは単純がうまくいく</p> <p>② お金がかからない</p> <p>③ 情報公開をすすずる土台を上げるべき</p> <p>④ 地方議会の変革と表裏一体ですべき</p> <p>⑤ 住民が成熟しているのか？ (いつも同じ顔ぶれ)</p> <p>＝</p> <p>政策決定の説明責任がなされてきたか？</p> <p>地域のエゴが現れないか</p>	<p>個別型でも常設型でもどちらでも良いと思う。 (理由) 時の流れによって事情の変化があるから「住民条例は必要と考える」前提</p> <p>地方分権を考える時、住民投票制度は必要と考える。(地方の独自性を理由とする。)</p> <p>常設型で拘束力がある条例が必要！</p> <p>議会制度・行政制度が、北欧型が理想。そうなれば、いい。</p>

第6回ワークショップ結果
第2グループ

必要	不要 (直接請求)
<div data-bbox="311 1818 443 2065" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民自治を考えた時、住民投票は必要</div> <div data-bbox="475 1818 651 2065" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民投票を行う事で住民自らの責務(責任)をうながす</div> <div data-bbox="675 1818 885 2065" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">進んでる所の問題が顕かになり、考える機会を与え、意識改革できる</div> <div data-bbox="284 1281 534 1706" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民の安全安心からかけはなれた公共事業、国の施策を思う時住民の総意を確認し合い、正も負もすべてを"に"になり、住民が決断の意思を持つこと、それに責任をもとうとする</div> <div data-bbox="534 1281 1098 1706" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民自治の実現のために、この投票制度が活用されていくことを願っています。 ・そういった意味からも出来るだけ制限をはずすこと ・多くの人の参加 ・何度でも請求 ・あらたな重大な事実を知り得た時の即応性などを確保しておきたい ○そして最も大切な理念として目先の費用にとらわれる事のない、広くかつ長期的視野を持つ住民の意識の成長を促していくことが大切</div>	<div data-bbox="359 945 566 1236" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">投票資格者 18才以上、外国人? (できるだけ多くの人が参加できるように)</div> <div data-bbox="582 967 730 1214" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">投票の期日 できるだけ長く してほしい</div> <div data-bbox="753 945 970 1191" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">請求・発議者 ・わかりません 人口割合 専門家の意見が ほしかった</div> <div data-bbox="406 654 577 900" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">投票結果はどんなものでも知らせてほしい</div> <div data-bbox="753 407 965 676" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">直接請求で良い ・法律はシンプルが良い ・直接請求の事例が多い</div>
常設型	個別型
<div data-bbox="1209 1774 1369 2020" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">常設型があると問題が起きた時取り組みやすい</div> <div data-bbox="1193 1303 1369 1706" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民投票 (常設型) いる・必要 (より現実的な執行ができる。直接意見を聞ける)</div>	<div data-bbox="1200 474 1369 676" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民投票の費用の削減をしてほしい</div> <div data-bbox="1200 183 1369 430" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">情報公開時、役所ではどのようにバックアップしてられるのか?</div>
<p>その他気のついた意見</p>	